

I



田口佳史さんに問う 【論語に学ぶ人間力】

講師

東洋思想研究家、
株式会社イメージブラン代表取締役社長

田口 佳史 Yoshifumi Taguchi

講師プロフィール

1942年東京生まれ。新進の記録映画監督として活躍していた25歳の時、タイ国バンコク市郊外で重傷を負い、生死の境で「老子」と出会う。奇跡的に生還し、以降中国古典思想研究四十数年。東洋倫理学、東洋リーダーシップ論の第一人者。

企業、官公庁、地方自治体、教育機関など全国各地で講演講義を続け、1万名を超える社会人教育の実績がある。1998年に老荘思想的経営論「タオ・マネジメント」を発表、米国でも英語版が発刊され、東洋思想と西洋先端技法との融合による新しい経営思想として注目される。

●主な著書

『清く美しい流れ 日本人の生き方を取り戻す』(PHP研究所)、『会社を変える「タオ・マネジメント」のすすめ』(日新報道)、『タオ・マネジメント 老荘思想的経営論』(産調出版)

参考図書

『論語』(1996年)

(上)・(下) 吉川幸次郎著、朝日選書(単行本)

※必読ではありませんが、ご用意いただくことをおすすめします。

講座概要

『論語』は今から2500年前に編まれ、中国及び日本において、人々の間に最も広く読まれた書物だと言われています。『論語』がかくも幅広く読まれてきた理由は、その平易で明晰な文体と同時に、時代を超越して有効な「普遍の真理」が凝縮されていたからにほかなりません。

40年以上にわたって中国古典思想の研究と普及に従事し、企業経営者、経営学者、教育者などに熱烈な支援者を持つ田口佳史さんに、古代から人間が直面してきた人生と仕事の諸問題を問いかけることで、行き過ぎを戒め、節度を重視した『論語』の本質をつかみ取ることをめざします。

『論語』を中心に、四書にも触れていく予定です。

田口佳史

第1回
10/8(木)

18:30~21:30

競争社会を
どう捉えるか

健全な競争は、努力の質を高め、創意工夫のもとになります。しかし、「勝負」に執着することが当初の目的を見失わせ、道を違えてしまうこともあります。真の競争とは、他者との競い合いではなく、自分自身に潜む「内なる敵」との戦いとも言えるでしょう。

競争社会の意義を理解しつつも、自己を見失うことなく、最善を尽くすことの大切さを理解します。

第2回
10/22(木)

18:30~21:30

規範は
なぜ重要なのか

人間が人間でいられるのは、自らの行動や思考を制御し、規定することができるからです。しかし一方で、行き過ぎた「規範」が、社会を硬直化させることもあります。また、既成の秩序や因習を越えた自由な行動や創造性が、社会を変えることも事実です。「規範」を守ることでもたらされる安定や秩序と、「規範」を越えることで実現する革新や創造をどう考えればよいのでしょうか。規範の持つ意味を考えます。

第3回
11/5(木)

18:30~21:30

学ぶということの
本質

私たちは、「自己啓発」「能力開発」という言葉を何気なく使っていますが、真の「学習」について、深く思索する機会はありません。

「学習」は、知識やスキルを修得する(学ぶ)ことと、獲得した知識を実践し、自分のものとするまで習熟する(習う)ことではじめて完結するといわれます。

三千人の弟子を育てたと伝えられる孔子の「学習論」に触れます。

お勧めしたい方

- 『論語』の思想・考え方をビジネスや人生に役立てたい方
- 生きる上での哲学や価値観の重要性を認識し、醸成したい方

慶應丸の内シティキャンパス

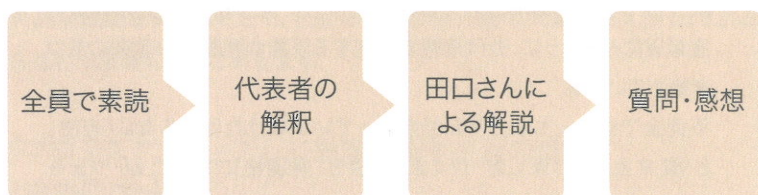
夕学プレミアム

agora

講座の特徴

人生と仕事に関わる諸問題を問答

『論語』の中から各テーマにかかわる文章をピックアップし、田口さんと問答します。



四書(「大学」・「中庸」・「論語」・「孟子」)とは

四書とは、儒学を志すときに必ず学ばなければならないとされた代表的な経典です。君子の学習方法を論じた「大学」、道徳の原理を論じた「中庸」、孔子と弟子の問答集である「論語」、そして孟子と弟子の問答集「孟子」の4書から成ります。中国だけでなく、日本においても江戸幕府に仕える人々をはじめ、私塾、藩校などを通して広く読まれてきました。

開催概要

日程	2009年10/8、10/22、11/5、 11/19、12/3、12/17 (すべて木曜日)
回数	6回
時間	18:30 ~ 21:30(3時間)
定員	25名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	105,000円(税込)

第4回
11/19(木)

18:30~21:30

欲望に どう向き合うべきか

人間の欲望は、科学技術の革新を生み、社会の発展を可能にしました。しかし一方で、欲望は人を惑わせ、道を踏み外す元凶にもなりえます。はたして人間は欲望とどう向き合い、どのように制御していけばよいのでしょうか。

進歩に向けたアクセルとして欲望を肯定しつつ、適切に制御するブレーキを合わせ持つことが人生の醍醐味でもあることを改めて考えます。

第5回
12/3(木)

18:30~21:30

社会で生きる ということ

人間は社会的な存在です。社会は人に目標や希望を与え、活躍の場を提供します。友との交流をもたらし、人間性を育む場でもあります。しかし、社会が誘惑や惑いをもたらすことも事実です。とりわけ、社会から得た名声や地位は、それを守ることに汲々とするあまりに、大切なものを見失わせてしまうこともあります。

社会の中で生きるということの、根源的な意味を問いかけます。

第6回
12/17(木)

18:30~21:30

人生における 成功とは何か

現代社会ほど、幸せの意味を問われている時代はありません。多くの人が飽食と消費に疲弊し、富や出世に執着することを嫌悪しながら、その呪縛から抜けられないでいます。私達は何を求めて生き、人生を通じて何を求めているのでしょうか。

「天命」の思想をもとに、人生の成功とは何かを議論します。